

多彩な事業の担い手 本所事業の牽引役の異動を承認

臨時議員総会

市への要望叶った支援金など 各種事業を報告

10月5日、第4回常議員会、第3回臨時議員総会を開催し、役員異動など、本所重要案件が承認された。

白谷会頭 挨拶要旨



冒頭あいさつする白谷会頭

最近、他の商工会議所関係者から本所の活発な事業活動について、たいへん興味深く聞かれることがあります。部会や委員会、研究会、そしてそこで企画された様々な事業について皆様方のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。このようにたくさんの事業が展開できるのも先人、我々の先輩方が強い財政基盤を築いてくれたお陰と併せて感謝しています。ところで、業界に目を向けますと閉塞感が漂う状況が続いていますが、そのような中で、明るい話題はスポーツ界にたくさんあります。大谷翔平選手をはじめとするメジャーリーグでの日本人選手の活躍、またサッカー、バスケットボール、そしてラグビーと日本の躍進は目を見張るものがあります。それは日本の若者が新しい論理的なトレーニングを積んできた成果といわれています。我々が身を置く経済界ではいかがでしょうか。まだ、過去に実績の上昇した手法の焼き直しや、旧態の経営を続けていることがよくあるのではないのでしょうか。

この閉塞感漂う現在の経営環境の中で活路を見出す要素は、「情報」、「スキル」、「チャンス(機会)」といわれています。氾濫する情報から、本当に必要な情報を得ることが大切です。経営環境が大きく変化している中で、どのように工夫をすれば上手くいくのか、そのやり方「スキル」が問われるところです。そして、その「情報」を活用し、そのやり方「スキル」をさらにブラッシュアップするため、親しい人間関係の中で確認をし合う、また、他に必要なスキルや実際に他社の機械、ノウハウを活用させてもらう、そんな機会「チャンス」が不可欠です。そこにはストーリーも生まれます。モノを売るためにはストーリーが必要です。そのような助け合いやネットワーク、信頼の繋がりを活かす「チャンス」を商工会議所のプラットフォームで築いていくため、一人でも多くの方に参画いただくことを、この場でもお願いしたいと思います。「六次の隔たり」という言葉があります。6つのステップを経て、世界中の全ての人と間接的に繋がるという意味ですが、本当に信頼できる人脈を、この商工会議所活動でつくっていただくようお願いします。そして一緒に未来をつくっていきましょう。毎年、未来をつくっていくことを考えないと本当の未来はつくれなないと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。

臨時議員総会の主な決議・承認内容

- ◇運輸倉庫部会長 浅野 博氏 逝去に伴う新部会役員の承認
運輸倉庫新部会長 池辺 義博氏(関西トランスウェイ株式会社 代表取締役)
運輸倉庫部会新副部会長 出水 久吉氏(南海通運株式会社 顧問)
- ◇監事 寺田 吉満氏 逝去に伴う新監事の承認
新監事 迫下 英治氏(泉大津中央商店街振興組合 理事)
- ◇役員の変更
新常議員 深井 喜造氏(深喜毛織株式会社 専務取締役)
新常議員 尼崎 雅昭氏(株式会社アマサキ 代表取締役)
新議員 川崎 久典氏(株式会社KWS 副社長)
- ◇一般商業部会新副部会長 藤野 修次氏(有限会社藤野安全硝子店 代表取締役)
- ◇新入会員の承認
- ◇労働保険事務組合の規約変更

主な報告内容

- ◇泉大津市の支援金制度(5ページ参照)
- ◇未来ビジョン協賛金と事業内容

日商会頭表彰を受賞 業界振興への尽力に

商工会議所活動を通じて業界振興に尽力された功績が認められ、3名の本所役員・議員に日本商工会議所小林会頭から表彰状が授与された。

- 議員歴30年表彰
議員 迫下 英治氏(泉大津市商店連合会会長・株式会社タケヤ 取締役会長)
- 議員歴20年表彰
常議員 高寺 壽氏(高寺興産株式会社 代表取締役)
議員 渡辺 万寿氏(渡辺糸糸紡績株式会社 代表取締役)

至福の時

仕事終わりのホッとするひと時『至福』を紹介し、明日への活力源をお伝えします



山崎 太郎

(山崎繊維工業株式会社 代表取締役)

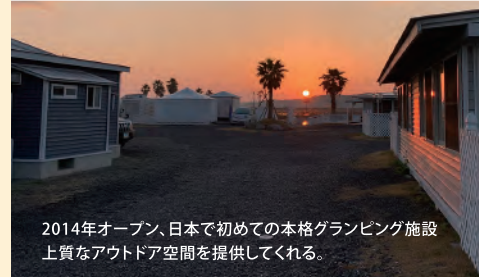
アウトドアブームの昨今でキャンプをされたことのある方も増えてきているのではないのでしょうか？

かくいう私もその一人で、子供が産まれてからはキャンプにハマっております。日程を決めて、行先を探して、旅行の計画を立てるところからもうすでに楽しいですね。地元の食材を購入してBBQや飯盒でご飯を炊いたり、林間学校の様にカレーを炊いたりとおいしいものが沢山あります。子供たちもお手伝いしながら作るご飯は、ちょっとくらいお米が硬くても、ちょっとくらいカレーが薄くてもThis is CAMPって感じで良いものです。

そんなキャンプですが、私が一番楽しみにしているのは、夕食後の焚火です。焚火って非日常感があって、毎回楽しみにしています。家族が寝静まってからの焚火は一人ですることが多いですね。焚火の炎をぼんやり見ていると心が落ち着いて、なんとも言えない安らいだ気持ちになります。暖炉の温かい炎や囲炉裏など人の集まる場所には温かい炎があって、人の気持ちを癒してきたのではないのでしょうか。特に冬は良いですね。冷え切った夜の空気の中、オレンジに揺らめく炎を見ながら何も考えない時間、空を見上げれば輝く星、なんとも贅沢な時間です。テレビもスマホもゲームも見ないで自然の中で時間を過ごす。

キャンプでの焚火が私の至福の時間です。

▼伊勢志摩エバークレイズ



2014年オープン、日本で初めての本格グランピング施設 上質なアウトドア空間を提供してくれる。



水と緑が豊かな心安らくロケーションが魅力

